

《柏市教育福社会館運営協議会第2回会議 資料1》

令和4年度

ラコルタ柏実施事業報告

(R4.4～R5.1)

1 ラコルタ柏連携 編

1. 令和4年度総括

令和4年度に重点的に取り組んできたこと

※()内はスライド番号

集い (5,12,13)

今までラコルタ柏を活用されていた世代に加え、中高大生や女性だけでなく、男性の子育て世代の参加や、夜間のイベント開催により30代～50代の働き世代など、幅広い世代の利用者が新たにみられるようになった。

つながる (3,4,6,11,14)

【利用者間】館内装飾やラコルタ柏フェスティバルを通じて、館を利用している個人や団体が、世代を越えて連携する機会が徐々に生まれてきている。

【事業間】館の講座やイベント等の参加者が、別の事業の企画者として活躍されるなど、事業間のつながりも育まれてきている。

ひろがる (15)

広く一般向けの情報発信のほかに、一度ラコルタ柏に関わってくださった市民の方への継続的な情報発信を強化するため、LINE公式アカウントやInstagramなどの導入を行った

1

R4これまでの活動 連携事業①

～柏未来ラボ(基礎編8/17・8/24、応用編9/25・10/2)～

実施のきっかけ

ラコルタ柏に関わってくれる中・高・大学生が増えてきたことから、学生自身が主体的に取り組むを考え実施する機会の提供を行いたいと考え開催した。



活動の結果

- ・参加者 基礎編17名 応用編4名

活動の成果(参加者の反応・やって見えたこと・わかったこと)

- ・今まで漠然と生活の場として捉えていた柏に、どんな資源や自分たちが参加できる機会があるかを参加者に考えてもらうことができた。
- ・基礎編から引き続き参加してくれた4名の学生たちが自ら課題と捉えた、地域での学生同士のネットワーク不足を解消するために、SNSサービスを活用したネットワークの場づくりに動き出した。
- ・学生の参加を促すためにはやはり、長期休みなどのまとまった休みの時期に講座を行うことが効果的だと感じた。次回開催に向け、開催時期は調整したい。

2

R4これまでの活動 ※連携事業② ~ラコルタ柏フェスティバル(11/12・11/13)~

実施のきっかけ

年に一度のラコルタ柏全館での事業ということで、昨年に続き実施。参加団体同士の交流や主体性を高めるために部会(企画・広報・設営)の導入など新たな運営体制を構築しながらの開催を目指した。



活動の結果

来場者数 約1,800名(2日間)



活動の成果(参加者の反応・やって見えたこと・わかったこと)

- ・運営方法等ブラッシュアップしていく部分はあるが、部会や実行委員会への参画を通して、着実に団体同士の交流・連携や、主体的な関わりなどの向上がみられた。
- ・学生の参加が昨年に比べ多くなってきたが、どうしても当日のボランティアだけになってしまっている部分が否めない。彼らがしっかりとフェスティバルの意図やその中で活躍の場を得られるよう、担当の先生方に相談させていただき、次年度はコーディネートに力を入れていきたい。

3

R4これまでの活動 ※連携事業③ ~わくわく人形劇まつり(当日11/27)~

実施のきっかけ

子育てに関する各種活動団体と協力し、人形劇を中心に紙芝居やお話の世界を通して、子どもの情操教育、親子のふれあいを図る。また、さまざまな親子同士のふれあいから、コミュニティ形成のきっかけづくりを図ることを目的としたイベントを実施する。



活動の結果

参加者数 782名



活動の成果(参加者の反応・やって見えたこと・わかったこと)

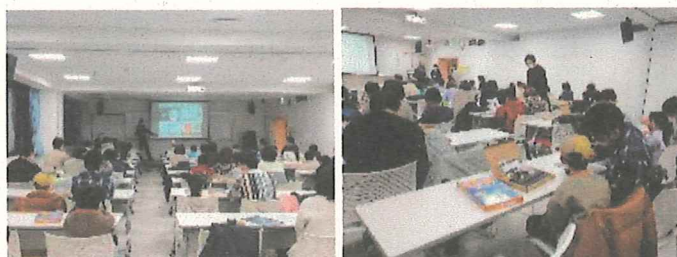
3年ぶりに対面形式として開催することができた。ラコルタ柏として、開催方法や情報発信の検討などに関わった。人形劇以外にも工作やおえかきを取り入れ、多くの参加者で賑わい、対面式の良さを改めて感じた。また開催後は、こども図書館にて保育園児作品の展示を行っており、来館者から大変好評を得ている。

4

R4これまでの活動 ※連携事業④ ～望遠鏡を作って冬の夜空を観察してみよう(12/10)～

実施のきっかけ

リニューアル後の館の活用について検討する中、屋上でのイベント開催の案が挙がり、以前多くの参加者があった観望会を実施する運びとなった。



活動の結果

小学生親子30組が参加



活動の成果(参加者の反応・やって見えたこと・わかったこと)

- ・講師を手作り科学館Exedra館長に依頼し、新たな地域人材の参画の機会となった。
- ・定員を超える参加申込があったため、参加人数を5組増やした。実際に体験できる機会への関心の高さがうかがえた。また土曜の夜間開催であったことから父親の参加率が高く、新たな来館者増の機会となった。リニューアル後初めて屋上を会場とし、屋外のスペース活用にもつながった。
- ・当日はやや曇り空であったが、子どもから大人まで観望会に積極的に参加していた。
- ・親子で望遠鏡を製作し持ち帰ったことから、家庭での継続的な観察が期待される。

5

R4これまでの活動 ※連携事業⑤ ～館内装飾ワークショップ～

実施のきっかけ

四季で彩る装飾を通じてラコルタ柏の情報発信をする。

①館内装飾物の制作により、ラコルタ柏に集う参加者同士のコミュニケーションの輪をつなぐ・広げる。

②年間10回の開催を通して、四季折々の館内装飾をすることによりラコルタ柏のイメージアップに繋げる。



活動の結果

四季の装飾品をラコルタ柏3階のロビーに展示することで来館者の目を楽しませている。
参加人数(最多): 25名 (平均): 15名

活動の成果(参加者の反応・やって見えたこと・わかったこと)

令和3年度から開催している月一度のイベント。参加人数には波があるが、継続することで、参加者は親子、学生、成人、高齢者の各年齢層が含まれ、作成中は学び合いやコミュニケーションの時間になっている。今後も子どもを含めた市民のアイデアや創造力が、ラコルタ柏の学びの場を輝かせる館内装飾に繋げていきたい。

6